

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断D.I.**は、「悪い」超幅が縮小した。
—— 製造業は、「悪い」超幅が縮小した。非製造業は、「悪い」超幅が拡大した。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	はん用・生産用・業務用機械、 電気機械、非鉄金属、輸送用機械、 紙・パルプ、繊維	設備投資需要の持ち直し IT関連需要の増加 自社製品への引き合いの強まり
	悪化	金属製品	感染症拡大に伴う営業活動の停滞
非製造業	改善	卸売、情報通信、建設	設備投資需要の持ち直し IT関連需要の増加
	悪化	宿泊・飲食サービス、小売、 対個人サービス、運輸・郵便、 鉱業・採石業・砂利採取業、不動産	外出自粛に伴う需要の低迷 巣ごもり消費の一巡

- **先行き**については、「悪い」超幅が縮小する見通しである。
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が縮小する見通し。

(事業計画)

- 2020年度の**売上高**および**経常利益**は、前年を下回る見込みである。前回調査対比では、売上高、経常利益ともに上方修正となった。
—— 経常利益を前回調査対比で見ると、製造業では、コスト削減の取り組みや巣ごもり消費に伴う需要の拡大、堅調なIT関連需要などから、上方修正となった。非製造業では、堅調な建設工事受注や原油価格下落に伴う利益率の改善などから、上方修正となった。
- 2021年度の**売上高**および**経常利益**は、前年を上回る計画である。
—— 経常利益は、製造業で、コスト削減の取り組みや設備投資需要の持ち直しなどから、増益計画となっている。非製造業は、サービス消費の持ち直しなどから、増益計画となっている。

- 2020年度の設備投資は、前年を下回る見込みである。前回調査対比では、下方修正となった。
—— 前回調査対比でみると、製造業、非製造業ともに、投資計画の縮小や先送り、後ずれなどから、下方修正となった。
- 2021年度の設備投資は、前年を上回る計画である。
—— 製造業は、需要が好調な製品の能増投資や前年度からの投資計画の後ずれなどから、前年を上回る計画である。非製造業は、前年の大型投資の反動などから、前年を下回る計画である。

(その他の判断項目)

- 販売価格判断D. I.は、「下落」超が解消した。仕入価格判断D. I.は、「上昇」超幅が拡大した。
- 雇用人員判断D. I.は、「不足」超幅が拡大した。
- 資金繰り判断D. I.は、「楽である」超幅が小幅拡大した。貸出態度判断D. I.は、「緩い」超幅が拡大した。借入金利水準判断D. I.は、前回調査並みの「低下」超となった。

以 上